

第 32 回日本赤十字社診療放射線技師会東部ブロック研修会開催報告

令和元年 11 月 9 日（土）10 日（日）足利赤十字病院講堂において標記研修会を開催し、来賓を含め、20 施設 67 名（足利を除く）の参加が得られた。

今回の研修会は、ディスカッション形式のプログラムに多くの時間を割いたことが特徴である。1 日目におこなわれた「人事交流」を目的としたテーブルディスカッションでは、「中堅職員」3 グループと「担当部署別」5 グループに分かれ、それぞれが決定した課題についてグループワークを展開し、それを発表し、施設代表者が評価をおこなった。各グループともに活発な討議がされていたように思われる。2 日目には、足利赤十字病院放射線診断科部長の潮田隆一先生のご協力のもと、「放射線技師のための症例検討会」をおこなった。これは提示された画像に対し、指名された参加者が所見を述べるという企画であったが、初めての経験で、最初のうちは戸惑いも感じられたが、時間が経つにつれ、物怖じせず、発言している様子が印象的だった。

施設代表者会議は、医療機器共同購入と患者の被ばく管理等、放射線安全利用のためのガイドラインに関することを中心に議論が交わされた。

研修会プログラム

11月9日（土）

12:00 受付開始

総合司会：深澤 千穂（足利）

12:45 開会挨拶

足利赤十字病院 久保田 健夫

12:50 日本赤十字社診療放射線技師会会長挨拶

仙台赤十字病院 安彦 茂

13:10 教育講演

座長 須藤 昌彦（足利）

「単純X線撮影で実現する胸部動態解析技術」

～コニカミノルタ最新技術紹介～

コニカミノルタヘルスケア営業推進部X線営業部

山口 晃史 先生

14:20 災害支援部講演

座長 簾谷 和男（足利）

「原子力災害時の行政の体制と救護活動における診療放射線技師の役割」

長浜赤十字病院 放射線科 松井 久男 先生

15:20 テーブルディスカッション

「中堅職員及び業務担当別グループワーク」

リーダーファシリテーター

長瀬 光臣

他 足利日赤スタッフ

(15:30) 施設代表者会議 （別室にて1時間程度 終了後グループワーク発表評価）

18:30 情報交換会

ニューミヤコホテル足利本館 3F大宴会場

11月10日(日)

総合司会：深澤 千穂(足利)

8:50 一般演題発表Ⅰ 7演題

座長 三浦 孝明(足利)

寺内 貴志(足利)

1. 一般撮影マニュアル改善への取り組み
さいたま赤十字病院 大川 斗喜也
2. 手関節X線画像を利用した骨密度測定法の検討
大森赤十字病院 小田 幹也
3. 当院の放射線防護衣の管理における取り組み
横浜市立みなと赤十字病院 小林 公介
4. X線CT位置決め画像を用いた放射線防護用前掛の管理
那須赤十字病院 山下 涼香
5. 当院での中心静脈カテーテル(CVC)先端位置確認における放射線技師の関わり
深谷赤十字病院 浅見 有希
6. 骨転移画像解析ソフトウェアVSBONE BSIの新規運用における検討
水戸赤十字病院 千木崎 信助
7. コリメーターの回転角度によるVMATの線量分布への影響
武蔵野赤十字病院 安廣 哲

10:00 一般演題発表Ⅱ 8演題

座長 中室 智之(足利)

平田 千咲(足利)

1. 股関節のトモシンセンス撮影における被ばく線量の測定
さいたま赤十字病院 後藤 卓登
2. X線透視TV室を利用した人工関節撮影時の入射表面線量の評価と課題
秦野赤十字病院 吉田 瑠花
3. Press Through Pack 誤飲症例に対するプロトコールの検討
横浜市立みなと赤十字病院 菅野 健志
4. 放射線科における視覚障害者への検査対応
水戸赤十字病院 朝倉 佐知子
5. 視線検出器を用いた画像操作装置の開発
前橋赤十字病院 佐藤 充
6. 内視鏡的逆行性胆道膵管造影に適した透視画像の収集処理条件の検討
大森赤十字病院 伊藤 大
7. 頭部3D撮像法SPACEにCAIPIRINHAを使用した場合の画質特性の検討
長岡赤十字病院 山田 朋奈
8. 救急MRI検査における脳梗塞と頸動脈プラークとの関係について
那須赤十字病院 阿部 直央

- 11:00 特別企画
「診療放射線技師のための症例検討会」
座長 大川 公利 (足利)
足利赤十字病院放射線診断科 部長
潮田 隆一 先生
- 12:30 次回開催当番病院挨拶
- 12:40 閉会挨拶
病院見学 (希望者のみ)
- 前橋赤十字病院 渡邊 寿徳

以上

2019年11月18日

足利赤十字病院 久保田 健夫